

-あとがき-
編集後記

(撮影・編集：奥津一樹)



新年度を迎え、待ちわびていた暖かい春がやってきました。例年より気温が高いようで草花の成長著しく山々は青々と繁り、虫や動物たちも活動を始めている様子を身近に感じています。農家さんによっては暖かい気温のおかげで豊作になるのではと期待を膨らませる声も聞こえています。また、気持ちのいい日差しのなか街中は活気に溢れ、海外からの観光客も多く見受けられるようになってきました。ごくたまに拙い英語で道案内くらいはすることがありますが、どなたも日本や小田原を楽しまれているようで、案内をする毎に地元小田原のことを誇りに感じる瞬間があります。今後も自慢できる街の魅力を見つけていきたいと思えます。



おだわら環境志民ネットワーク

Odawara Environmental Citizen's Network

(事務局)

小田原市環境部環境政策課

電話：0465-33-1472

メール：ka-kansei@city.odawara.kanagawa.jp

今後の会員活動予定

イベント等の詳細・参加申し込み各種お問合せは各会員または事務局までお気軽に。

4月21日(金) NPO法人和の文化塾【植物染めワークショップ(レモン)】
@小田原ガスショールーム「エコリア」 13:00-15:00

4月22日(土) ジャパン・マルチハンターズ株式会社【鹿皮なめし体験講座】
@松田町創生推進拠点「スプラポ」 10:00-16:00

5月25日(木) 地球と子どもたちに明るい未来を残そう【谷口たかひさ氏お話し会】
@小田原市立三の丸小学校体育館 18:00-19:30

※情報交換会について、4月の開催は予定しておりませんのでご注意ください。

各種SNS 日々更新中

Homepage



Facebook



Instagram



youtube



LINE



おだわら環境志民ネットワーク会報誌

GreenEra

4

2023
Odawara
Environmental
Citizen's
Network

Vol.24

TEKE FREE

表紙：宮本 亮さん

(ジャパン・マルチハンターズ株式会社)

ジビエ丸焼き
パーベキュー

子ども食堂コラボ
ビーチクリーン

環境活動支援事業
実績報告会

小田原城お濠
清掃プロジェクト



▲みなさん丸焼きの解体に興味津々です

ジャパン・マルチハンターズ株式会社 ジビエ丸焼きバーベキュー

4月2日(日)

気持ちよく晴れた青空のもと、松田町創生推進拠点「スプラポ」にてバーベキューイベントが行われました。参加者は60名を超え、小田原市外の方も多く来られていました。ジビエが好きな人でも、なかなかお目にかかれぬ”丸焼き”のインパクトは抜群でした。



▲グリルの上はジビエばかり



▲鹿肉100%ぐるぐるソーセージ



▲左から調理担当の長谷川さん、狩猟担当の宮本さん、広報担当の並木さん、プロデューサーの宮原さん

小田原では特に鹿の捕獲量が年々増加しているものの、農作物の被害も増えつづけ、捕獲が追いついていないことが窺えます。ジャパン・マルチハンターズ株式会社ではこの環境問題を、「見る」・「食べる」・「作る」といったさまざまな視点から解決しようとイベントなどを打ち出しています。

小田原の自然を見て豊かさを感じ、食べてジビエの美味しさを知り、角や皮などを工芸品として加工する体験を通じて、余すことなく循環することができる命の恵を伝えながら、地域の新しい魅力として根付く取り組みが続けられています。



▲イノシシの丸焼きを捌く長谷川さん



▲実績報告会の様子



▲採択された事業の1コマ
(相洋高校理科部と株式会社 REXEV との知見共有)

地球と子どもたちに明るい未来を残そう 子ども食堂コラボ ビーチクリーン

4月4日(火)

南町にある「箱根ログレージ」を拠点に地域コミュニティ活動を展開されている【きんじろう南町地域食堂】さんとのコラボ企画として一緒にビーチクリーンを行いました。グループに分かれて拾えたごみの量を測って競い合うなど遊び要素を加えて楽しくできました。ビーチクリーンのあとはSDGsやプラごみ問題など、今起きている環境問題についても勉強しました。



▲水中のごみを集めたダイバー



▲参加されたダイバーやボランティアの方々

おだわら環境志民ネットワーク 令和4年度環境活動支援事業 実績報告会

3月22日(水)

小田原の自然環境保全に資する活動や喫緊の課題となっている人材の育成、資金の確保等に資する取組を支援する環境活動支援事業の実績報告会を行いました。どの事業も質が高く、報告された内容から小田原の自然に対して素晴らしいアプローチができたことが窺えました。令和5年度の事業は5月31日まで募集中です。



▲およそ30kgほどのごみが回収できました



▲お手伝いの大学生による●×クイズの様子

滝田叔歳さん(石橋ダイビングセンター) 小田原城お濠清掃プロジェクト

4月12日(水)

地域のスキューバダイビング事業者で構成される「西神奈川ダイビング事業者安全協議会(NDOSA/エヌドサ)」とボランティアの方々によって2018年4月以来5年ぶりにお濠の清掃作業が行われました。当日は滝田さんを中心に18名が参加し、約1時間の潜水で40kgほどのごみを回収しました。中にはお花見で出たのか空き缶が多くみられたほか、スマートフォンなど貴重品もありました。滝田さんたちは日本一きれいなお濠を目指して、また来年以降も活動される予定です。